

## 魚津市ラグビーフェスティバル ルール

魚津大会ルール	
1	バック側(海側)チームのフリーパスで試合を開始する。 予選リーグは前半4分―後半4分(ハーフタイムなし)とし、前半と後半でコートチェンジを行う。 ※決勝トーナメントは前半5分―後半5分(ハーフタイム1分) 後半開始のフリーパスは前半のフリーパスでないほうのチームが行う。
2	フリーパスとは、ボールを持ったプレーヤーがその位置から動かずに、自分より後方のプレーヤーにパスをすることである。 そのとき相手チームは必ず <b>3m</b> 下がらなくてはならない。
3	試合開始はレフリーの笛の合図の後コートセンターからのフリーパスにて行う。 トライ後の再開はコートセンターからトライを取られたチームのフリーパスにて行う。
4	ボールを持ったプレーヤーは前後左右どの方向にも動くことができる。
5	守るチームのプレーヤーは相手チームのボールを持つプレーヤーのタグを取ることができる。
6	タグを2本ともつけたプレーヤーだけがプレーに参加でき、またトライすることができる。2本のタグを付けていないプレーヤーがボールを持った場合は反則とし、その地点から相手のフリーパスでゲームを再開する。トライ直前にタグを取られたプレーヤーがそのままインゴールに入ってもトライは認められない。同様にインゴール内でのパスも認められない。ゴールラインから <b>5m</b> 地点まで戻って、フリーパスで再開する(直前のタグの回数から)。
7	得点は、ボールを持っているプレーヤーが <b>相手インゴールに駆け込むこと</b> によって得られる。ゴールラインはインゴールであり、タッチインゴールおよびデッドラインはタッチである。トライは立ったままで行わなければならない。その際、 <b>両足はインゴール内に入っていないなければならない</b> 。片足または両足がインゴールに入っていない状態でのトライは認められず、 <b>ゴールラインから5m</b> 地点まで戻って、フリーパスでゲームを再開する。
8	タグを取ったプレーヤーは、タグを相手に手渡して返すまでプレーすることができない。また取られたプレーヤーは、パスをしてから取られたタグを返してもらい腰に付けるまでプレーすることができない。
9	ボールを持ったプレーヤーは、タグを取られないように手で押さえたり、 <b>体を回転させて防ぐ</b> ことは認められない。
10	<b>タグを取られたら直ちに前進をやめ、ボールを離さなければならない</b> 。目安は3歩以内だが、すぐに前進をやめられたのに故意に前進を続けたとレフリーが判断した場合は、たとえそれが3歩以内であったとしても反則とする。(途中で気づき戻る行為をすればこの限りではない。)
11	試合中、 <b>相手プレーヤーと体がぶつかるプレーをすることはできない</b> 。具体的には、タグを取りにきた手を払うこと、手で相手を突くこと、相手を捕まえること、体当たりをすることなどであり、手を広げてのディフェンスも禁止とする。また、タグを取りに行く際に <b>自分から遠い側のタグを取りに行くことにより、相手プレーヤーの前進を妨害し接触を誘発するタグの取り方も禁止する</b> 。
12	一切のキックは禁止し、地面に転がったボールを屈むなどして立ったまま手で拾わなくてはならない。
13	ボールは自分より前に投げることはできない。自分より前に投げた場合はスローフォワードとし、パスを受け損なって前に落とした場合はノックオンとする。 スローフォワードやノックオンが起こっても、そのボールを相手が拾うなどした場合は <b>アドバンテージ(相手チーム有利で続行)を適用して反則を取らない</b> こともある。
14	タグを取られたプレーヤーの地点を基準として、守るチームはその <b>地点より相手側でプレーすることはできない</b> 。(タグを取られたプレーヤーの地点とゴールラインに平行な位置まで戻ってからプレーに参加する。)
15	フリーパスからの最初のパスをもらうプレーヤーは、 <b>パスをする選手から2m以内に立ち、パスを受けてから走りだすこととする</b> 。
16	前記8～15の禁止事項は反則となり、その地点から相手ボールのフリーパスとなるが、反則をしたチーム側のゴールラインから <b>5m以内の反則の場合は5m地点でのフリーパスとなる</b> 。
17	タグを <b>4回</b> 取られると最後にタグを取られた地点から相手ボールのフリーパスとなる。
18	タッチライン上はコートの外であり、それはインゴールにおいても同様である。 ボールを持ったプレーヤーがタッチラインを踏んだ場合やタッチラインから出た場合、またボールがタッチラインに触れた場合やタッチラインから出た場合は、その地点の外から、その時点でボールを持っていたチームの相手チーム、もしくは最後にボールに触れたチームの相手チームのフリーパスとなる。タッチラインの外からのフリーパスはタッチライン上の地点よりも直角もしくは後方へのパスとする。